

2020 年 11 月 27 日

鉄道の持続的発展へ向けて、土木学会、日本機械学会、電気学会、日本交通学会が一堂に会するシンポジウム（J-RAIL2020）をオンラインで開催

J-RAIL は、土木工学、機械工学、電気工学、交通の研究者および技術者が一堂に会し、最新の鉄道一般技術、鉄道政策に関する研究成果を発表するシンポジウムです。

第 27 回となる今年度は、12/15（火）～12/17（木）の期間、オンライン開催を予定しており、土木学会（土木計画学研究委員会）主催で行われます。

今回は、J-RAIL2020 の特別企画として、12/16（水）に、『鉄道メンテナンスの課題と将来に向け求められる大転換』と題したセッションを開催します。

12/16（水）の特別セッションは、無料でご視聴いただけますので、是非、この機会に多くの方にご参加いただければ幸いです。

記

第 27 回 鉄道技術・政策連合シンポジウム（J-RAIL2020）特別セッション 『鉄道メンテナンスの課題と将来に向け求められる大転換』

【詳細】

1. 開催日時：2020 年 12 月 16 日（水）13：00～16：30
2. 開催形式：土木学会 YouTube チャンネルからの Live 配信（参加申込者限定）
3. 行事 URL：<http://civilold.civil.cst.nihon-u.ac.jp/~kaneko/specialsession.html>
4. 参加申込：<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

※一般のセッション（有料）と申込欄が異なりますのでご注意ください

（特別セッションの行事コードは「4020021」です）。

5. 参加費用：無料（特別セッションのみ参加の場合）

6. プログラム：

総合司会 金子雄一郎（J-RAIL2020 実行委員長/日本大学理工学部 教授）

I. 講演セッション「鉄道メンテナンス技術の最先端」（13:00～14:30）

1) 特別講演（13:00～13:15）

演題：「日本の鉄道に求められる「俯瞰的総合力」」

講師：家田 仁 氏

（第 108 代土木学会 会長/政策研究大学院大学 教授/東京大学 名誉教授）

2) 基調講演 (13:20～14:30)

演題：「全国鉄道インフラの健康診断」 ※録画

講師：林 康雄 氏（鉄建建設 代表取締役会長/第 107 代土木学会 会長）

演題：「青函トンネル新幹線高速化の悩みと確認車の改良」

講師：渡利 千春 氏（北海道旅客鉄道 常務取締役総合企画本部長）

演題：「コンクリート構造物のひびわれの遠距離リモート測定先端技術」

講師：中庭 和秀 氏（クモノスコーポレーション 代表取締役社長）

II. パネルディスカッション「課題はここにある！」 (15:00～16:30)

コーディネータ

江口 秀二 氏（国土交通省 大臣官房 技術審議官（鉄道局担当））

パネリスト

伊勢 勝巳 氏（東日本旅客鉄道 常務執行役員）

井出 多加子 氏（成蹊大学 経済学部 教授）

瀬谷 明彦 氏（東急電鉄 鉄道事業本部車両部 統括部長）

中澤 英樹 氏（東京地下鉄 取締役）

中野 哲 氏（わたらせ渓谷鐵道 技術部長）

久田 真 氏（東北大学大学院 教授/土木学会メンテナンス総合委員会 副委員長）

※J-RAIL2020 では、特別セッションのほか、一般講演セッションにおいて、100 を超える発表が行われます。こちらの方も是非ご参加いただければ幸いです。

シンポジウム HP：<http://133.43.106.35/~kaneko/jrail2020index>

以上

問合せ先：公益社団法人土木学会 研究事業課 小澤 一輝

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内

TEL：03-3355-3559 FAX：03-5379-0125 Email：k-ozawa@jsce.or.jp